

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	15			活動スペースは規定の3倍の広さを確保し、活動の目的にあわせてスペースを区切って利用するなど、子どもの安全や、活動をできるよう工夫している
	②	職員の配置数は適切であるか	12	3		職員の配置についても、規定の人数より多く配置し、また、心理士や保育士等専門性の高い職員を配置している
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	11	4		身体障がいをもったお子さんへの対応はしていないが、施設内には段差はなくトイレは車椅子対応トイレになっている。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	14	1		年に数回の職員会議を通じて、業務改善のための会議を行っているが、職員数が増えるなか、全員が集まって会議することが難しくなっている。 職員が広く参加できるよう年間計画を立て実行する
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		12	3	今回行った事業所向け自己評価と併せて保護者向けへの評価アンケートを実施した。今後は児童発達支援の保護者にもアンケートを実施し、業務の改善に努める
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	1	11	3	今回初めて自己評価を実施したため、結果をホームページで公開する
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	4	10	現在は第三者評価は取り組めていない。 今後は必要に応じて大学等と連携をとりながら外部評価を行ってきたい
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	15			職員研修や本法人主催の勉強会等を通じて療育や子どもの発達についての研修を行っている。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	14	1		入所前に必ず保護者・子ども両者の面談を行い子どもの状況や保護者のニーズの把握を行っている。 また、個々の必要に応じて知能検査や発達検査を行っている
適切な 支援の 提供	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	7	2	今後はVineland II を利用し、利用者全員のアセスメントを行う
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	14	1		現在各プログラムの内容についてチームで検討している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	13	2		月ごと、週ごとにプログラムの狙いを確認しながら適時プログラムを考えている
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	2	11	2	とことこのプログラム設定上、平日、休日の違いが無い為、平日が否かで課題の変更を行っていない。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	13	1	1	保護者とも相談をしながら子ども毎の課題・必要性に応じて個別の療育と集団療育を利用している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	14	1		毎回のプログラム前にプログラムの狙いの確認やそれぞれの役割分担について打ち合わせを行っている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	13	2		支援終了後に職員間で振り返りを行っている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	14	1		日々の支援終了後に記録を行っているが、担当によっては記録するタイミングがなく次の業務に入る場合があるので記録時間の確保に努める。

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8	7	個別の支援計画についてその達成度等について評価し、見直しを行っているが、規定のモニタリング等の評価指標があるわけではないので、モニタリングも含め規定の評価指標を導入する
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	10	5	自立支援としての集団活動時間、余暇支援・創作的活動としての自由活動時間等を設定しているが、地域交流については取り組めておらず今後取り組んでいきたい
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	12	3	相談支援事業所の担当者会議自体の頻度が少ないこともあるが、現状は児発管が個別療育担当の心理士が参加している。今後は集団療育担当の保育士の参加等も促して行きたい
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	12	3	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか			
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			
保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか			
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか			
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			

	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか					
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか					
	③⑤	個人情報に十分注意しているか					
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか					
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか					
	非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか				
		③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか				
④⑩		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか					
④⑪		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか					
④⑫		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか					
④⑬		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか					